



かがやく 150 周年 ここから未来へとび立て 平和 希望 努力の 小原田っ子  
**「平和 希望 努力」小原田小だより**

令和6年度 No.26  
 令和6年8月29日  
 郡山市立小原田小学校  
 文責 校長 佐久間誠



**9月1日は「防災の日」です**

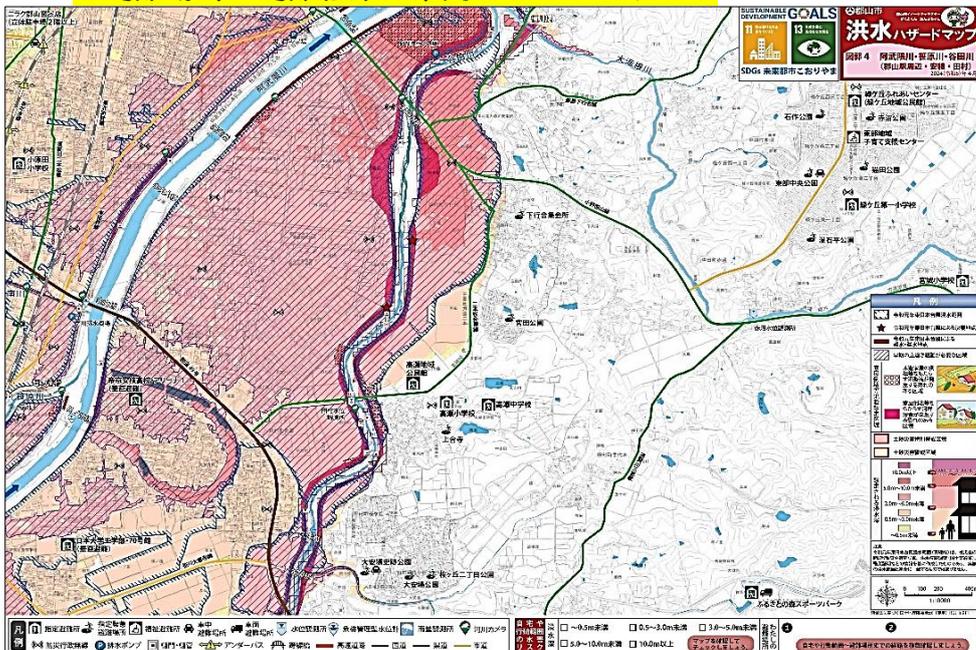
台風10号の動きが気になります。非常に強い台風で、強風と大量の雨が大きな被害をもたらすことが心配されます。あらためて「備える」ことを意識する毎日です。

9月1日は「防災の日」です。また、9月1日から1週間は「防災週間」となっています。日本は地形や海に囲まれている環境などから、地震や台風、津波、豪雨などの災害が発生しやすい国で、これまでも様々な災害に見舞われてきました。そのような災害による被害を少なくするために、「防災の日」が設けられました。

今年の夏には、南海トラフ地震臨時情報が発表され、あらためて地震に対する備えの重要性が確認されました。また、台風5号や台風7号の接近に伴い、小原田小は2回自主避難場所になりました。台風だけでなく、ゲリラ豪雨により、郡山市に大雨警報・洪水警報も出されました。

自然災害に対する「備え」の重要性は、一層高まっています。「防災の日」を契機に、「備え」について考えていきたいと思えます。

- 食料・飲料水などの備蓄は十分ですか？
- 非常持ち出しバッグを準備していますか？
- ご家族同士の安否確認方法は決まっていますか？
- 避難場所や避難経路の確認をしていますか？



**非常用持ち出しチェックリスト**

- 飲料水
- 食料品
- 貴重品  
(現金、小銭、印鑑、現金通帳、健康保険証など)
- ヘルメット、マスク、軍手
- 衣類、下着、タオル、毛布、雨具
- 懐中電灯、携帯ラジオ、携帯電話の充電器
- 救急用品  
(消毒液、常備薬、包帯など)
- 洗面用具、ウェットティッシュ、携帯トイレ



9月1日が「防災の日」となったのは、関東大震災があった日だからです。日本は、これまでに数々の大災害に見舞われてきましたが、歴史上の大きな地震災害の一つとして記憶されているのが、1923年9月1日に起きた関東大震災です。この震災を忘れず、災害に対する備えをしっかりと行おうと、1960年に9月1日を「防災の日」として制定しました。また9月1日は、立春から数えて210日目の日で、この時期は台風が多く、災害が発生しやすいことも、防災の日に設定された理由の一つになっています。

9月1日の「防災の日」を機会に、ご家庭で災害に備える日にしていただけたらと思います。災害に備えることは、命を守ることです。災害による被害をできるだけ少なくするには、一人一人が自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要だと言われています。その中でも基本となるのは「自助」です。

学校では繰り返し「自分の命は自分で守る」指導を行っていきます。ご家庭でも、自分の身を守る心構えについて子どもと一緒に考える・話す機会にはいかがでしょうか。

なお、お知らせしておりますとおり、8月31日に予定していた「PTA 奉仕作業」は、台風10号の接近を考え、9月7日(土)に延期いたしました。

**福島県防災アプリ**  
 ※下のQRコードからダウンロードできます

